

地区だより

…………… 令和元年 6 月 1 日発行

ちゅうおう

＜地区人口と世帯数＞

男 19,366人 女 20,739人

計 40,105人

世帯数：20,933世帯

(5月1日現在)

2019

6月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町 3-1

☎525-3710 ㊟536-9828

令和元年度(平成31年度)の自治振興協議会総会が開催されました

●中央東地区

中央東地区自治振興協議会(小野 國武 会長)の総会が4月18日に市民会館で開催されました。

総会には48人の委員が出席し、昨年度の事業の報告を受け、今年度の取り組み方針や事業計画などについて話し合いました。



●中央西地区

中央西地区自治振興協議会(清水 徹 会長)の総会が4月25日に三河台学習センターで開催されました。

総会には34人の委員が出席し、昨年度の事業の報告を受け、今年度の取り組み方針や事業計画などについて話し合いました。

また、役員改選により、富士見町会長の清水徹さんが中央西地区自治振興協議会の会長に再任しました。

自治振興協議会は「地域振興と地域住民の福祉の向上を図る」ために、町会長や地区内の主な団体などの代表者で構成されています。

問／市民協働課

☎525-3731

地域の個性を生かしたまちづくり計画について

●中央東地区

街なかを訪れる皆さんをおもてなしの心でお迎えし、街なかの魅力を伝えたいという思いから、レンガ通り沿いなどの事業所にご協力をいただき、きれいな花と心のこもったメッセージで街なかを訪れる皆さんの目を楽しませています。

この「花によるおもてなし事業」は、地域住民の皆さんや大学生、高校生、子どもたちが協力して花植え作業を行うことで世代を超えた交流の機会となっています。

今後も事業の継続により、住民同士の触れ合いの機会を増やし、地域住民の連帯感の醸成を目指します。



●中央西地区

中央西地区の神社や史跡、地域の歴史などを知ることで、地域の皆さんが親睦を深めるとともに、地域への愛着をさらに高めてもらいたいという思いから「史跡探訪マップと名所案内看板の作成」に取り組んでいます。

これまで、三河台歴史愛好会や地域の皆さん、三河台学習センターと協力しながら、地域内の歴史史跡をまとめた「史跡探訪マップ」を作成し、地域の皆さんに配布しました。

また、マップ掲載の神社や史跡などを訪れた際にさらに興味をもってもらうため、現地に案内看板を5基設置してきました。

今年度も引き続き、案内看板の設置を進めていく予定です。



問／市民協働課 ☎525-3731

地区内の 工事情報

工事箇所	工事内容	完了予定	備考	担当課
森合町 ほか	はらいがわ 祓川改修工事	6月28日(予定)	進捗率約30% (4月末現在)	河川課 ☎525-3756

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

令和元年度市民学校 ～受講生募集！～

バランス抜群 減塩料理教室(夏編)

季節の野菜などを使い、バランス良い食事と減塩の推進を目指します。減塩みそ汁づくりでは塩分チェックもします。健康増進のために、ぜひご参加下さい。

- 日 時 6月15日(土) 午前10時～午後1時
- 場 所 中央学習センター 実習室
- 対 象 者 中央地区に在住、在勤の方
- 定 員 20名(先着順)
- 参 加 費 300円(材料代)
- 講 師 福島市食生活改善推進員
- 持 ち 物 エプロン、ふきん
- 申込方法 6月3日(月)～10日(月)までに参加費を添え中央学習センターへ申込み下さい。

ふくしま花のまちづくり事業 「花のまちガーデニング教室」 【初夏の寄せ植え】

- 日 時 6月23日(日) 午前10時～正午
- 場 所 中央学習センター 2階ホール
- 対 象 者 中央地区に在住、在勤の方
- 定 員 15名(先着順)
- 参 加 費 1,200円(材料代)
- 講 師 あとりえ悠然 代表 五十嵐 和恵 先生
- 持 ち 物 ゴム手袋・移植ベラ・汚れてもよい服装(エプロンなど)
- 内 容 夏の花の育て方や管理方法など実際に寄せ植えを体験し夏のガーデニングの基礎知識を学びます。
- 申込方法 6月5日(水)～17日(月)までに参加費を添え中央学習センターへ申込み下さい。6月6日(木)より電話受付をします。

※受付時間は午前9時～午後5時45分まで(火曜日は除く)

ヤングカレッジ中央 6月6日(木)開講します！ ～随時受講生募集中～

毎週木曜日の夜に、新たな仲間と企画した様々な活動を通して、仲間づくりを行う「ヤングカレッジ中央」！随時、受講生を募集中ですので、興味のある方はお気軽にお問合せください！ご連絡お待ちしております。

- 対 象：18～35歳までの独身男女
- 活動日時：毎週木曜日19時～21時
- 年 会 費：1,500円(保険代・資料代等)
- 申 込 み：中央学習センター窓口・電話または下記メールアドレスまでご連絡ください。
chuou-lc@mail.city.fukushima.fukushima.jp

昨年度の主な活動

サマーキャンプ、ニュースポーツ、ハーブティー講座、美文字レッスン、ヘアアレンジ講座、ハロウィンパーティーなど



飯坂街歩き



ユニカール

中央学習センターからの お知らせ

5月31日(金)～6月2日(日)は東北絆祭り準備等のため貸館業務は行いません。利用者みなさまには大変ご不便をおかけします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



『これを学んで福島通になろう』 郷土史家 江代正一氏

第3回「川は歴史を作る ～古代 阿武隈川は2本流れていた(下)～」

渡利地区の東側を通る阿武隈川の流れのほかに、もう一方の流れが今回紹介する腰ノ浜地区の西を通る流れである。その流路はどのような流れ方であったのか。

まず、腰ノ浜の地名であるが、江戸時代は越ノ浜という漢字を使用していた。「腰」「越」とは河岸段丘、「浜」は川の畔、「ノ」は田舎という意味があり、直訳すると、腰ノ浜は川のある河岸段丘上の田舎の村ということになる。

この村に、奈良時代に阿武隈川が2本流れていた。古い川の方は、現在の教育会館(舟場町)の西側を北に向かって流れ(上浜町緑地公園はその河岸段丘)、福島成蹊高校の校舎回り、福島東高校のグラウンドを通過して、福島第二中学校や福島競馬場の馬場の回りを経て、岩谷下から松川へと流れていた。旧4号線(奥州街道)は、その川の上砂礫段丘上にあった。

古代の阿武隈川の流路や河岸段丘を調べると古代の東山道及び信夫の郡家、駅家などの解明につながる。(次回、「古代の東山道の駅家と郡家、腰ノ浜廃寺の話」につづく。)

